

## 地域移行等の取組状況について

## ■ 堺市障害者地域移行体制整備事業

- ・ 基幹相談支援センターに委託して事業実施
- ・ 各区の障害者基幹相談支援センターに地域移行コーディネーターを配置し、個別ケースの支援のほか、市内の精神科病院にて実施する茶話会等の支援を実施
- ・ 年 1 回市域向けの啓発研修を実施

[実績]

|          | 令和 4（2022）年度          | 令和 3（2021）年度                 | 令和 2（2020）年度             |
|----------|-----------------------|------------------------------|--------------------------|
| 個別ケースの支援 | 27 件<br>（上半期実績）       | 42 件                         | 23 件                     |
| 患者向け茶話会  | 2 回<br>（上半期実績）        | 16 回                         | 18 回                     |
| 院内職員向け研修 | 0 回<br>（上半期実績）        | 新型コロナウイルス感染症のため、「中止」         | 新型コロナウイルス感染症のため、「中止」     |
| 市域向け啓発研修 | 1 回<br>（R4.12.5 実施予定） | 1 回（※）<br>（R3.11.29 オンライン開催） | 1 回<br>（R3.2.22 オンライン開催） |

- ※ 令和 3（2021）年度（11 月 29 日）に実施した、市域向け啓発研修は、「ご本人の思いを大切にした地域移行支援とは」と題し、精神科病院の茶話会の実践報告と、地域移行支援を利用している長期入院者の支援者・ピアサポーターから関わりの様子について動画を用いて実践報告。zoom で実施し、54 名が参加した。

(その他)

精神科病院入院者向けツール「さかいでくらそう ゆめノート」を作成。入院中に行う退院に向けての準備や、支援者が実施する支援内容、退院後の社会資源について、専門の知識がなくとも伝わりやすいものとなっており、精神科病院、クリニックに配布している。

## ■ 退院促進支援会議（および「にも包括」）

- ・ 堺市障害者地域移行体制整備事業に基づき、関係機関の連絡調整や連携に資することを目的として設置。
- ・ 構成メンバーは、市内の精神科病院（5 病院）、障害者基幹相談支援センターに加え、庁内関係係局（こころの健康センター、精神保健課、障害施策推進課）にて構成。
- ・ 会議開催状況は、令和 3（2021）年度開催回数は 2 回。  
令和 4（2022）年度は、第 1 回を 10 月に開催。第 2 回は、令和 5（2023）年 3 月の開催を予定している。
- ・ 会議の主な内容は、障害者基幹相談支援センターから地域移行体制整備事業に係る取組実績、市内の精神科病院における取組状況等の報告等。
- ・ 令和 3（2021）年度より、精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム（※）の構築に係る「協議の場」の一つとして位置付けている。

- ※ 「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」とは、精神障害者が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしができるよう、医療、障害福祉や介護保険のサービス、住まい、社会参加（就労等）、地域の助け合い、普及啓発（教育等）が包括的に確保されたシステムのこと。